

第 75 号

平成22年 1 月 1 日発行

清林

SEIRIN

発行所 静岡市清水区和田島689-1
清水森林組合
TEL (054) 395-2013
FAX (054) 395-2940

印刷所 静岡市清水区二の丸町5-12
(有)清水日光印刷社
TEL (054) 366-1677
FAX (054) 364-8205

頌 春

代表理事組合長 小澤 泰
新春のご挨拶を申し上げます。

森林管理センターの指定管理を受けて早くも四年、地域関係者のご理解とご協力のもと大過なく管理業務を果たした事に安堵しながらもこの事を今後の糧として森林の価値観を広げられたいと願っています。森林環境の重要性は広く社会全般に行き渡ってきている、木材生産の目的から、その目的は変わっても森林の崩壊防止に保水にと多目的な責を果たしている。

世界的な問題点としてCO₂削減、排出枠、経済取引、温暖化対策税等々単純に考えて林家に具体的な還元は何があるのか解らない。

今後の林業界並びに林家の社会的地位が認められなければ成らないと思う。こんな林業界は長い不況に斜陽産業と言う烙印を押されてしまうのか、時代背景がいつのまにか建築思考を変えてしまったといえる。

昭和三十五年頃が懐かしい、何も考えずに山仕事に打ち込んでいたものだ。一方組合運営は業務内容を変える事が出来る事が幸いして、組合員の皆様に弱小ではあるが健全経営を報告出来る事に安堵しております。

この度、市町村合併に伴い由比町、蒲原町が静岡市となった事で両町の山林所有者に森林組合への加入を進めてまいりました。山を通して地域同志のコミュニケーションを期待したい。

本年度はGIS、GPSの導入による利用活動を期待しながら組合員皆様方のご健勝をお祈りしてご挨拶いたします。

お知らせ！清水森林組合管内変更

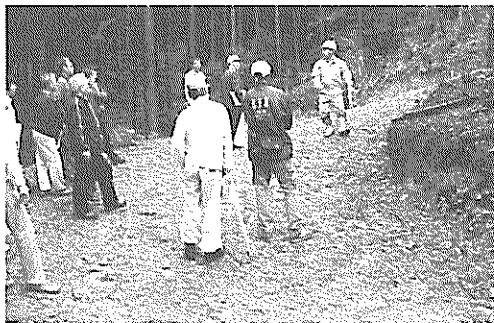
清水森林組合では由比町、蒲原町が、静岡市に行政合併し清水区となりましたことを受け、管内を旧清水市の区域から清水区の区域へと変更を致しました。今まで由比・蒲原地区の森林につきましては、森林組合が無く町が管理を行って来ましたが、今後は、清水森林組合でこの地区の民有林も管理していきたいと思っています。つきましては、由比・蒲原地区の森林所有者の皆様は森林組合の組合員になっていただくようお願いを申し上げます。

森林所有者の皆様で加入の希望がある方、又は、山林管理の事や、補助金制度等ご依頼、ご質問ございましたら、森林組合までご連絡をいただけますようお願い申し上げます。

静岡市林道事業推進協議会 先進地視察研修

十月二十六、二十七日の二日間で先進地視察研修が高知県にて行われました。一日目は四万十町管理林道を視察。

アドバイザーの武政光夫氏に、勾配の決め方、表土積みブロック工法、丸太組み工法、埋め込み丸太材の水切りなどの解説をしていただきました。



(勾配の説明をする武政氏)

現地では、切り株を路肩に使用し、この長い方を路面側にし、その上に土を盛り点圧して安定させる土の流失防止をしていたり、開設時の表土を剥いだ土を路肩に広げ植生を促したり、開設後何年も補修せずに使える林道開設の技術を学びました。その後、大正町森林組合に行き、

西河内小学校森林教室

十月十六日(金)に五年生は間伐体験を行いました。足場が悪い場所が多ありましたが、一生懸命間伐をしました。生徒達はノコギリ使って、受け口、追い口を作り、力を合わせてロープをひっぱって一本の木を倒す大変さを勉強できたと思います。今回は中日新聞の記者の方が生徒に間伐作業の感想など聞いていて、その後、新聞に掲載されました。間伐作業で疲れた経験をお忘れしないでほしいです。



(うまく切れるかな?)

一・二年生は十月二十三日にハイキングを楽しみながら、清水森林公園まで歩き、葉や竹や木で遊ぶ楽しい工作時間を過ごしました。

二日目は株式会社とされいほくに伺いました。まずは間伐材搬出作業中の現地に行きH型架線集材を見せいただきました。2本の線の間をラジカールが上下左右と行き来し、間伐材を搬出していきます。会社へ戻り、林業の再生を目指す間伐推進と企業経営についてお話を聞き、工夫した架線集材でも利益を上げられる経営法や、若い従業員、社員をつくる組織や人づくりを学びました。本年度も有意義な研修になり関係各社の方や事務局様にはお世話になりました。

謹 賀 新 年

平成二十二年 元旦

清水森林組合

代表理事組合長
代表理事副組合長

理 事

小澤 泰
滝 實史
中山 勉
望月 昭生
片平 清健
上倉 紘一
森田 富二
石垣 節夫
村上 文喜
片平 清司
堀池 康孝
望月 猛男
笠原 隆正
佐藤 陸人
米津 要

代表 監 事
監 事

清水 和宏
望月 裕司
藤浪 亮
望月 佳代子
青島 全代
望月 克彦
深沢 益

総括会計主任
業務主任
業務技師
総務会計
庶務購買
管理センター主任
管理センター

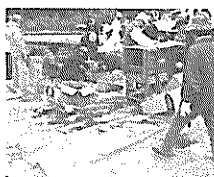
林産造林班長

繁竹 健治
望月 久
繁竹 喜一
鈴木 正二
深澤 久才

◆年末年始休業のご案内

平成二十二年十二月二十八日(月)より
平成二十三年一月四日(月)まで。

体験田復活戦 そば脱穀作業



(脱穀作業中)

清水森林公園のそば講座は畑づくりから種まき、取入れ、脱穀、そば打ち体験と試食まで一連の作業が体験できる人気講座で、今回、十一月二十九日に脱穀作業をむかえることになった。田にブルーシートを敷き作業場を作り、昔、農家が使用した足踏み式の機械を使用して脱穀作業に入った。作業は危険が伴う為、経験のある男性が担当。足でスピードや踏む力をコントロールしながら脱穀され、次に唐箕という機械で実とゴミを分別。さらに手作業で篩にかけ、きれいに実が選別された。

今年は天候などの条件で昨年より収穫量が減りましたが、今回は待望のそば打ち体験と試食会です。

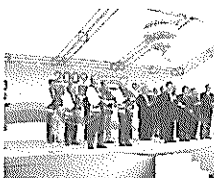
清水森林公園 秋まつり

十月二十六日に清水森林公園やすらぎの森「であいの広場」にて秋まつりが開催されました。今年も森林公園指定管理者である森林組合が主体になり地元の方の協力を得て開催することができました。前日から天気が悪く、当日が心配でしたが雨も降らず、大勢のお客さんが来ていただきました。森林組合は原木生しいたけや林業道具を、加工組合は木工品などを販売し、竹で作るパウムクーヘンを披露してお客さんに配っていました。周りのテントでは地元特産物が並び、小学校バザーや流しソーメン、やまめ塩焼きなど人気があったようです。



(販売風景)

清水農業まつり



(オープニングセレモニー)

伐の必要性をアピールできたと思っております。今年も天候が心配されましたがお客様も多く大盛況でした。

毎年恒例になっている「フェスタIA しみず清水農業まつり」が十一月二十九日に清水マリナパークにて開催されました。森林組合では例年通り椎茸関係を中心に木工品なども販売しました。毎年来場してくれるお客さんも多く、昨年買った物を今年もと、お求めいただきうれしかったです。炭焼き椎茸の試食サービスも大好評で生椎茸も完売でした。今回も森林組合で展示ブーススペースをいただきましたので間伐推進パネルや林業道具などを展示し、間伐の必要性をアピールできたと思っております。今年も天候が心配されましたがお客様も多く大盛況でした。

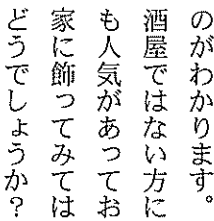
清水しいたけ生産者組合視察研修

十一月二十五、二十六日にかけて視察研修を行いました。清水地区九名、静岡地区四名、森林組合一名の計十四名で神奈川県と茨城県へ原木しいたけの視察研修に行きました。初日は神奈川県川島の井上さん宅へ。浸水施設やほだ場を視察。次に茨城県の有限会社なかのきのこ園さんへ。全国一位の原木数20万本を誇る施設を見学。広い敷地の施設ごとに居られる責任者さんの話を聞き、発生の仕方や、販売方法など学びました。二日目は東京ビッグサイトにてフードセクションに参加。原木しいたけをアピールし、大変充実した研修になりました。



(なかのきのこ園視察中)

体験講座 スギ玉づくり



(最後の仕上げ)

清水森林公園の体験講座「スギ玉づくり」が十二月十三日に行なわれました。「スギ玉」とは作り酒屋の軒先に吊るされているのを見たことがあるでしょうか？年の暮れにこれを吊るし新酒が出来たことを知らせる意味合いと、次にスギの葉が変色していく様子との熟成具合を合わせ見る意味があるようです。作り方は、針金製の球形の芯にスギの葉をさして剪定バサミ等で球形に切っていくだけです。もう4回目の開催であって、毎年参加する方は腕前が上がってきているのがわかります。酒屋ではない方にも人気があってお家に飾ってみてはどうでしょうか？

清水森林公園の体験講座「スギ玉づくり」が十二月十三日に行なわれました。「スギ玉」とは作り酒屋の軒先に吊るされているのを見たことがあるでしょうか？年の暮れにこれを吊るし新酒が出来たことを知らせる意味合いと、次にスギの葉が変色していく様子との熟成具合を合わせ見る意味があるようです。作り方は、針金製の球形の芯にスギの葉をさして剪定バサミ等で球形に切っていくだけです。もう4回目の開催であって、毎年参加する方は腕前が上がってきているのがわかります。酒屋ではない方にも人気があってお家に飾ってみてはどうでしょうか？

第二十回静岡県生しいたけ品評会開催

十一月十七日、品評会が静岡市中央卸売市場内で開催されました。この品評会は、生しいたけ生産技術の向上と生産意欲の高揚、品質の向上及び流通の合理化、消費拡大を増進し、椎茸経営の向上及びしいたけ産業の健全な発展に寄与することを目的として開催されます。審査は部門別で露地栽培の部、ハウス栽培の部、菌床栽培の部に分かれて行い、各地区から126点出品されました。この内、清水しいたけ生産者組合からは13点ほど出品し、品評会審査の結果、ハウス栽培の部で清水区但沼町の堀池浩二氏が1等を受賞しました。



(品評会審査中)

木材市況

△ 強含み
○ 保含み
▽ 弱含み
m単価、@1本当たり

樹種	長さ (m)	径 (cm)	静岡		岡	気配
			高	値 (円)	安	
すぎ	4.0	1 1 ~ 1 3	11,300	10,000	○	
	4.0	1 6 ~ 1 8	13,720	9,500	○	
	4.0	2 0 ~ 2 2	13,880	9,500	△	
	4.0	2 4 ~ 2 8	16,000	10,000	△	
	4.0	根玉選木	—	—	—	
	2.0	2 0 ~	6,000	4,500	○	
	3.0	1 6 ~ 1 8	11,000	10,500	○	
	6.0	1 6 ~ 1 8	14,500	14,000	○	
ひのき	4.0	1 1 ~ 1 3	14,500	12,500	○	
	4.0	1 4	16,200	14,000	▼	
	4.0	1 6 ~ 1 8	21,120	20,090	○	
	4.0	2 0 ~ 2 2	31,390	18,000	○	
	4.0	2 4 ~ 2 8	37,000	15,500	○	
	4.0	根玉選木	—	—	—	
	2.0	2 0 ~	8,800	5,000	○	
	3.0	1 4	15,810	14,110	▼	
	3.0	1 6 ~ 1 8	21,800	18,000	○	
	6.0	1 6 ~ 1 8	30,000	20,000	○	
	7.0	1 6 ~ 1 8	30,000	28,000	○	

加工場コーナー

炭

●ただ今記録更新中！
山仕事に危険はつきものの、しかし災害ゼロに近づけるのはプロ。
静岡県内における林業労働災害死亡事故は平成二十年ゼロを達成しました。前二十年以上ゼロの年はありませんでした。
平成二十一年もゼロが達成できそうです。(十二月中旬現在)
死亡事故ゼロは、山で働く者にとつての目標でした。林業作業の変化、道具の安全化などや、リスクアセスメントの普及などあるものの、作業者の安全に対する意識が大いに貢献していると思います。先日、清水森林組合作業班の安全講習会が伐採シーズン前に行われ、静岡県林業技術者協会会長である片平成行氏に安全講習を受けました。が、これからは「緊張感を保った作業」を心がけましょう。

両河内地区は江戸時代には徳川の御用釜として地域の産業となっていました。今までは燃料としての使用は電気、ガス、石油などの利用によりその量は減ったものの、炭はほかにも利用できます。
土壌改良材として効果があります。炭にある小さな穴は微生物の住処、微生物は土の中で有機質を無機質に分解、煙の土を力のある土に変えます。住みかとなる炭が、地元産材でできているとミネラルバランスが地元の微生物に適っていて微生物にも大いに働きます。清水国産材加工組合では土壌改良材として地元材での炭を生産しています。